

1. インターバンク市場

8/10~8/14の無担保コールO/Nは、地銀・信託・証券業態から0.075%前後の調達が見られたほか、一部大手行からは0.074%での調達も見られた。まとまった金額に対しては、引き続き0.07%台後半の出合いが見られていた。週を通して試し取りが行われていた事もあり、無担保コールO/N加重平均レートは概ね0.07%台後半の推移となった。週末の14日は積みの実質的な最終日でもあったが、年金定時払いで大幅な資金余剰となったこともあってか、特段の変化は見られず、落ち着いた出合いが続いていた。ターム物に関しては、大手行から2Wの調達が行われたほか、証券業態のロール案件が散見された。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、13日に3M・8,000億円でおファーされ、落札額1,240億円(期落ち分1,331億円)と札割れの結果になった。

8/17~8/21は、新しい積み期間に入る。17日の5Y発行、20日のTB1Y発行超過・20Y発行等の揚げ要因があり、各々需給上の不足日となるものの、当座預金残高は引き続き高水準を保っており、無担保コールO/Nは引き続き0.07%台半ばを中心とした出合いが続くと見られる。主なイベントとしては、17日の4-6月期のGDP1次速報、18日の英国CPI、19日の米国CPIが挙げられる。

2. オープン市場

8/10~8/14の短国市場は、品薄感が強く、ほぼ全ての期間でマイナス圏での動きが続いていた。週を通して閑散な地合いが続く中、13日には3M物の入札(551回)が実施された。落札結果は、平均落札利回▲0.0056% 按分落札利回▲0.004% 按分率49.0143%と、在庫確保の需要もあり、概ね市場予想通りの結果となった。セカンダリーではショートカバーから一時▲0.008%で出合いが見られたものの、買い一巡後は▲0.002%まで上昇した。6M物は、業者間取引において、過去最低となる▲0.085%まで水準が切り下がる場面も見られていた。短国買入オペは、7日に政策決定会合が開催されていたため、週中に2回おファーされた。10日実施分は、前回から2,500億円増額の1兆7,500億円でおファーされ、平均落札利回較差+0.015% 按分落札利回較差+0.011% 按分率93.7%となった。14日実施分は、10日実施分から2,500億円減額の15,000億円でおファーされ、平均落札利回較差+0.012% 按分落札利回較差+0.006% 按分率4.5%となった。両オペとも売買参考統計値が低い銘柄を中心に応札されたと見られ、落ち着いた結果となった。週末の気配は3M物で▲0.005~▲0.002%、6M物で▲0.08~▲0.085%程度となっていた。

8/10~8/14のCP市場は、夏季休業入りした発行体が多く、発行は閑散であった。週間の償還総額5,000億円程度に対し、発行額は、石油、鉄鋼、不動産、商社、化学業態等からまとまった発行案件が見られていたものの、案件自体が少なく、発行総額は4,000億円程度にとどまった。発行レートは、月内物を中心に高止まりした銘柄もみられた一方、期越え物はディーラーや投資家の在庫確保の需要が強く、レートが低下した銘柄も多く見られた。発行水準はa-1+格相当で0.08%付近、その他の銘柄においては、概ね0.085~0.095%程度であった。

8/17~8/21の短国市場は、18日に1Y物、20日に3M物の入札が予定されている。1Y物は短国買入オペ見合いの買いにより、強めの決着が見込まれる。3M物は、引き続き堅調な結果が予想される。CP市場は、20日と25日発行分を中心に発行が膨らむとみられる。18日にはCP等買入オペが予定されている。売却可能銘柄次第ではあるものの、売り急ぐ向きに乏しいことから、前回に比べて小幅低下しての決着が予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,100億円程度の発行超見通し。財政等要因は、17日の5Y発行、20日のTB1Y発行超過・20Y発行等があり、5兆6,400億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で5兆8,500億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<17日>TB3M;償還53,000億円・発行51,000億円/2Y;償還24,100億円・発行25,000億円/5Y;発行25,000億円/個人向け3Y;償還500億円/個人向け3・5・10Y;発行2,300億円 <19日>エネルギー対策借入;期日4,000億円・新規5,000億円<20日>TB1Y;償還7,900億円・発行25,000億円/20Y;発行12,000億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
8/17(月)	900	△ 32,400	△ 31,500	全店共通(固) CP買入 ETF買入	△ 1,300 △ 100	1,200 200	0	△ 31,500
8/18(火)	0	1,000	1,000	国債買入 短国買入 社債買入		12,000 15,000 1,300	28,300	29,300
8/19(水)	0	1,000	1,000				0	1,000
8/20(木)	△ 1,000	△ 29,000	△ 30,000				0	△ 30,000
8/21(金)	△ 2,000	3,000	1,000	CP買入		3,500	3,500	4,500
週間合計	△ 2,100	△ 56,400	△ 58,500		△ 1,400	33,200	31,800	△ 26,700

(注) 上表の8/17は日銀予想、8/18以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/17(月)	4-6月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)		
8/18(火)		TB1Y 25,000億円 8/20発行 20Y 12,000億円 8/20発行	7月の米住宅着工件数 7月の英消費者物価指数
8/19(水)	7月の貿易統計(財務省 8:50) 6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	交付税借入 10,500億円 8/27借入	7月の米消費者物価指数
8/20(木)		TB3M 51,000億円 8/24発行 流動性供給 5,000億円 8/24発行	7月の米中古住宅販売
8/21(金)			

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入